

News Clip & AV Material

◆ ニュースクリップ&映像教材



(2012年9月)
鈴木日本教育メディア学会会長より第7回
井内賞を授与される受賞者代表

■第7回日本視聴覚教育協会・井内賞授与される

視聴覚教育における若手研究者の優秀な論文を表彰する井内賞の第7回授与が、平成25年10月12・13日和歌山大学において開催された日本教育メディア学会第20回年次大会において行われた(写真)。なお、受賞論文「歴史的事象を現代の問題解決に応用する力を育成する教材のデザインと評価」(池尻良平・藤本徹・椿本弥生・山内祐平(敬称略))は、次号で掲載の予定。

文部科学省情報

■「プログラミン×宇宙兄弟コンテスト」実施

広く科学技術施策への理解・普及を図ることを目的に公開している文部科学省のウェブサイト「プログラミン」では、本ウェブサイトを使って作成した作品を募集している。

〈募集対象〉「プログラミン」で宇宙兄弟のイラスト等を使用して作成した作品。○アニメ部門 ストーリーや動きなど、より演出にこだわった作品。○プログラム部門 ゲームなど、よりプログラムの仕組みにチャレンジした作品。それぞれキッズの部(小学生以下)と一般の部(中学生以上)に分けて募集。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.mext.go.jp/programin/>

〈賞〉グランプリ、特別賞(宇宙兄弟賞、MEXT賞、JAXA賞、理研AICS(アイクス)賞)等。

〈審査員〉小山宙哉氏(漫画家『宇宙兄弟』作者)、野口聡一氏((独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙飛行士)他

〈締切〉平成26年1月15日(水)

〈発表〉受賞作品については、平成26年2月中旬

頃にウェブサイト等で発表する他、グランプリ受賞作品はテレビアニメ『宇宙兄弟』の中で紹介。〈問い合わせ先〉文部科学省大臣官房総務課広報室 TEL 03-5253-4111(内線2171)

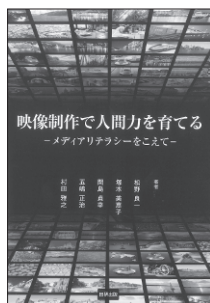
AV情報

■ 青少年のインターネット利用環境づくりフォーラム

内閣府では、青少年が安全に安心してインターネットを利用できるようにするため、標記フォーラムを全国において開催している。

○宮城県 平成26年1月23日(木)・24日(金) 仙台市太白区文化センター(仙台市太白区長町5-3-2) ○埼玉県 平成26年1月17日(金)・18日(土) さいたま市大宮ソニックシティ(さいたま市大宮区桜木町1-7-5) ○岐阜県 平成25年11月20日(水)・21日(木) 大垣市情報工房(岐阜県大垣市小野4-35-10) ○京都府 平成25年11月12日(火)・13日(水) 京都パルスプラザ(京都市伏見区竹田鳥羽殿町5) ○広島県 平成26年2月7日(金)・8日(土) 広島国際会議場(広

▶ブックレビュー



「映像制作で人間力を育てる—メディアリテラシーをこえて—」

松野良一、塚本美恵子、間島貞幸、五嶋正治、村田雅之著
田研出版発行
2013年3月刊 A5判 218頁
本体2,300円＋税

近年の大学教育において、映像制作がおこなわれる機会は多いが、その理念や目的は必ずしも明確ではなかった、ということとそれなくして、なぜ教育行為として成立してきたのか不思議に思われるかもしれない。もちろん、ジャーナリズム研究の一環とか、メディアへの批判力を育てるなどの説明はあった。

だが現場感覚は必ずしもそうではない。映像制作を学ぶ学生が、他の科目を履修するのに比べても明らかに夢になって取り組み、さまざまな泣き笑いの場面を通じて変化し、成長していくのを目の当たりにして、教員の方が驚いているのである。これはいったい何が起きているのか—ということを明らかにしたのが本書である。

それが育てているのは、「人間力」だと本書は言う。人間力は採点できないし、番組は完成してみるまでどこへ行くのかわからない。そんな曖昧で予定調和しにくいことを、「教育」として結実させてきた豊富な実例が、まず本書の中心である。それを情緒的な印象に終わらせず、実証的に分析し、モデル化や理論化を試みていくアプローチが圧巻だ。

だから本書は、大学生のための番組の作り方とか、このように指導したらうまくいくといったハウツーものではない。もちろん指導要領としても優れているが、映像制作の多様なプロセスにおける学習者の変容を見つめ、大学教育を通じた社会参画の可能性や課題について、広範な文献資料も参照しつつ検討された真摯な問題提起なのである。

こうした実践と論点が整理されることによって、その核となるものが次第にくっきりと浮かび上がってくる。それは、大学のどこかに映像制作の存在理由をなんとか見出したいというような話ではなく、その学びを通じて、学習者の中から沸き起こってくるものこそが、教育というものの本質的な目的だったのではないかという確信だ。映像制作に携わる教員にとって、わが意を得たりの良書である。

(東京情報大学総合情報学部教授 伊藤敏朗)

島市中区中島町1-5)・広島平和記念資料館(広島市中区中島町1-2) ○福岡県 平成26年1月31日(金)・2月1日(土) 福岡市パピヨン24(福岡市博多区千代1-17-1) ○沖縄県 平成25年11月5日(火)・6日(水) 浦添市てだこホール(沖縄県浦添市仲間1-9-3)

日程、会場等変更となる場合有。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/koho/forum/h25/index.html>

〈問い合わせ先〉内閣府政策統括官(共生社会政策担当) 付青少年環境整備担当

TEL 03-3581-9279(直通)

■「芸術文化振興基金」助成対象活動〈映画〉の募集

(独)日本芸術文化振興会では、国内映画祭や映画製作活動に対し、以下のように助成を行う。

〈内容〉国内映画祭等の活動(国内映画祭、日本映画上映活動)、映画製作への支援(劇映画、記録映画、アニメーション映画)

〈応募書類提出期間〉第1回 平成25年11月27日(水)～12月3日(火)、第2回 平成26年5月28日(水)～6月3日(火)、いずれも当日消印有効。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.ntj.jac.go.jp/kikin/grant.html>

〈問い合わせ先〉(独)日本芸術文化振興会基金部 企画調査課映像芸術係 TEL 03-3265-6312(10:00～18:00 土・日・祝日除)

■2013年国際放送機器展 Inter BEE 2013

(一社)電子情報技術産業協会主催による標記展示会が開催される。

〈日時〉平成25年11月13日(水)～15日(金) 10:00～17:30 15日は、17:00まで。

〈会場〉幕張メッセ(千葉市美浜区中瀬2-1)

〈内容〉国内外トップレベルの放送・映像・音響・照明機器および周辺アプリケーションなどの展示等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.inter-bee.com/ja/about/>

〈問い合わせ先〉(一社)日本エレクトロニクスショー協会 TEL 03-6212-5231

▶ 資料紹介



「日本放送教育協会 60年の歩み」

一般財団法人日本放送教育協会
発行
2013年9月刊 A4判 40頁

日本放送教育協会は昭和27（1952）年に財団法人として認可され、昨年12月に60年を迎えた。翌年の1953年はNHKテレビ本放送の開始年であり、本書は正にテレビ放送の歴史と重なる、放送教育・メディア教育の普及・推進に努めてきた協会の歴史をコンパクトにまとめた資料性の高いものである。再録された雑誌「放送教育」の創刊のことばによると、協会は「従来個々別々に放送教育の普及目指して努力を払って来た多くの民間団体が、大同団結して」、昭和23（1948）年に任意団体としてスタートしたとのことである。「放送教育の父」と呼ばれ、奈良女高師教授をへて日本放送協会で学校放送の開設にあたった西本三十二氏が設立の中心となった。

本書は「年表に見る 60年の歩み」と「放送教

育協会とわたし」の二部構成となっている。前半の歩みの部分では、雑誌「放送教育」の発刊、高野山での「学校放送研究会全国大会」の主催、「放送教育懸賞論文」の募集、「学校放送掲示用番組表」の発行、放送教育関連書籍の発行などの事業が次々と行われたことがわかる。学校の教師と児童生徒、研究者、番組制作者の継続的な交流の結節点としての役割を担う拠点として設立された協会の活動は、多メディア・国際化の時代になっても変わらず、「日中テレビ教育番組シンポジウム」や「アジア・教育番組ワークショップ」などを開催した。その後のデジタル化の進展とともに雑誌「放送教育」は休刊となったが、ホームページ「放送教育ネットワーク」での発信や、結節点として全国放送教育研究会連盟、NHK杯放送コンテストの事務局としての活動は続いている。

後半の「放送教育協会とわたし」ではこうした活動の中心となった12名による放送教育に対する思いを幼稚園・保育所、小学校、中学校、高校、特別支援学校と幅広い学校種の執筆者が寄せている。巻末の協会の刊行図書一覧や各種資料も充実しており、年表とあわせて放送教育の歴史を俯瞰するのに適した書である。

（NHK放送文化研究所専任研究員 宇治橋祐之）

■ 第33回「地方の時代」映像祭

吹田市、関西大学、日本放送協会、日本民間放送連盟、日本ケーブルテレビ連盟の共同主催による標記映像祭が開催される。

〈日程〉平成25年11月16日（土）～22日（金）

〈会場〉関西大学千里山キャンパス（大阪府吹田市山手町3-3-35）

〈内容〉贈賞式、記念講演、グランプリ作品上映、シンポジウム、ワークショップ等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://regionalism.jp/guide/index.html>

〈問い合わせ先〉「地方の時代」映像祭実行委員会事務局 TEL 06-6363-3874

■ eラーニングアワード2013 フォーラム

「激変する教育・研修・学習」をテーマに、eラーニングアワードフォーラム実行委員会他主催による標記フォーラムが開催される。

〈日程〉平成25年11月20日（水）～22日（金）

〈会場〉ソラシティ カンファレンスセンター（東京都千代田区神田駿河台4-6）

〈内容〉「eラーニングを取り巻く現状と未来」についての事例紹介、発表、セミナー等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.elearningawards.jp/outline.html>

〈問い合わせ先〉「eラーニングアワードフォーラム」運営事務局 MAIL info@elearningawards.jp

研究会情報

■ 第9回情報教育合同研究会

情報コミュニケーション学会では、標記研究会を開催する。

〈日時〉平成25年11月30日（土）10:00～17:40

〈会場〉園田学園女子大学（兵庫県尼崎市南塚口町7-29-1）

〈内容〉ワークショップ、研究発表、講演「すべての教科で推進する情報教育(仮)」永井克昇氏（文部科学省初等中等教育局情報教育視学官）、総合討議等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.cis.gr.jp/conf.html#jouhou09>

〈問い合わせ先〉情報教育合同研究会 園田学園女子大学情報教育センター

MAIL jkgk13@sonoda-u.ac.jp

■「教育の情報化」実践セミナー 2013 in 京都

日本教育工学協会では、「子どもが主役になる次世代の学びとは」をテーマに、標記セミナーを開催する。

〈日時〉平成25年11月30日（土）13:00～16:30

〈会場〉大谷大学講堂棟（京都市北区小山上総町）

〈内容〉実践報告、基調講演、展示見学など。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.jaet.jp/katudou/s131130kyoto.html>

〈問い合わせ先〉日本教育工学協会事務局

TEL 03-5575-0871

■ 情報教育コンファレンス

（公財）学習ソフトウェア情報研究センターでは、標記コンファレンスを開催する。

〈日時〉平成25年12月5日（木）13:00～15:20

〈会場〉アルカディア市ヶ谷 琴平の間（東京都千代田区九段北4-2-25）

〈内容〉講演「教育の情報化について」豊嶋基暢氏（文部科学省生涯学習政策局情報教育課長）、「子どもの情報環境—活用と安全の両面から求められるもの—」坂元章氏（お茶の水女子大学教授）。

〈問い合わせ先〉（公財）学習ソフトウェア情報研究センター TEL 03-6205-4531

コンクール情報

■ 第9回著作権教育実践事例募集

（公社）著作権情報センターでは、著作権の理解や尊重に役立つ「モデルとなる事例」や「優秀な事例」を広く教育関係者に紹介し、今後の著作権教育における活用のため、標記事例を募集している。

〈募集対象〉平成24年4月1日以降に実施した、著作権に関する教育活動の事例（テーマは自由。授業・特別活動等、形態は問わない）

〈応募資格〉募集対象となる教育活動を実施した小・中・高等学校等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.cric.or.jp/education/jissenrei9/index.html>

〈締切〉平成25年11月30日（土）当日消印有効。

〈問い合わせ先〉（公社）著作権情報センター著作権教育実践事例事務局 TEL 03-5348-6030

■ 第5回「科学ドラマ大賞」作品募集

（独）科学技術振興機構では、児童生徒が科学技術に興味や関心が持てるような映像コンテンツのもとになるシナリオやストーリーを募集している。〈募集内容〉主に小学生から中学生の児童生徒とその保護者を視聴対象者とし、科学技術に興味や関心が持てる内容。シナリオ部門、ストーリー部門の2部門。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.jst.go.jp/csc/kagakudrama/>

〈締切〉平成25年12月16日（月）

なお、本募集に先立ち、第4回標記シナリオ部門大賞作品「ママはロボット」（原題「未来ハ続クヨドコマデモ」）が放映される（BSフジ2013年11月23日（土）15:30～16:00（再放送））。

〈問い合わせ先〉（独）科学技術振興機構科学コミュニケーションセンター「科学ドラマ大賞」事務局 TEL 03-5214-8458

文部科学省選定作品

■ 9月選定 〔紙〕紙しばい／〔ビ〕ビデオ／〔D〕DVD

特選「『正倉院—日本が誇る世界の宝—』【現代に繋がる宝物の意匠】〈南倉の宝物〉」〔D〕88分、「『同』【シルクロード、そして正倉院】〈中倉の宝物〉」〔D〕92分、「『同』【世界を魅了する天平美術】〈南倉の宝物〉」〔D〕90分〈高等学校、芸術／青年・成人、教養・情操（美術）朝日放送（株）東京支社コンテンツ事業部

「クモヨバあさんの すばらしい す」〔紙〕12枚〈小学校低学年〉（株）童心社

「現代的なリズムのダンスの教え方—生徒の『自由』を引き出す『カタチ』—」〔D〕69分〈少年・青年・成人、健康・スポーツ（スポーツ・レクリエーション）東映（株）

放送番組

「ティーンズプロジェクト フレ☆フレ」

Eテレ（土）17:55～18:25再放送（土）0:15～0:45※都合により番組内容変更有。

〈月のテーマから〉○「105kmの友情—6人で挑んだ“強行遠足”—」、○「心をほぐすキャンプを！」、○「ふるさとの未来をおいしく！—F級グルメ甲子園に挑む女子高生—」番組詳細は、下記を参照のこと。<http://www.nhk.or.jp/teens/>